

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明

【研究責任者】 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 部長 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

局所性ジストニアは神経疾患のひとつであり、音楽演奏家が楽器を演奏している最中に手指、腕、口、舌にみられる不随意運動や筋肉の痙攣により思うように楽器を演奏することができない病気です。その他に字を書く際に手や腕が震えたり、自分の意図に反して動いてしまう書痙もジストニアに含まれます。また、スポーツ選手(ゴルファーなど)にもスポーツに関連した動作でジストニア症状(イップス)がみられる場合があります。ジストニアは演奏活動、書字、スポーツ動作を妨げてしまう神経疾患であり、繰り返しの練習や繊細なコントロールを必要とする動作に見られます。しかしながら、病態に関してはまだ不明な点が多く、現在も多くの研究が行われています。

本研究では、演奏(音楽家の場合)、書字(書痙の場合)、スポーツに関連した動作(スポーツ選手の場合)をしている最中の脳活動を生理学的指標を用いて評価することで、ジストニアの病態に関連する脳活動を明らかにして、将来的な治療法の開発やリハビリテーションに役立てることを目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

この研究では、以下の条件をすべて満たす方を募集しています。

〈有局所性ジストニア患者〉

1. 現在、局在性ジストニアを患っている方
2. 18歳以上、75歳以下の方
3. 日常的に楽器演奏を行っている方(音楽家の場合)
4. 日常的に書字を行っている方(書痙の場合)
5. 日常的にスポーツ(ゴルフなど)を行っている方(スポーツ選手の場合)
6. 手術などで金属が体内に埋め込まれていない方
7. 現在、局所性ジストニア以外の精神・神経疾患などを患っていない方
8. 実験開始日の6か月以内にボツリヌス注射を受けていない方
9. てんかん発作の履歴のない方
10. 現在、向精神病薬や睡眠薬などの医薬品を服用していない方
11. 閉所恐怖症でない方
12. 説明を理解し、自ら参加有無の判断ができる能力を有する方

〈健常者群〉

1. 現在、局在性ジストニアを患っていない方

2. 18歳以上、75歳以下
3. 日常的に楽器演奏を行っている方(音楽家ジストニアのコントロール群となる場合)
4. 日常的に書字を行っている方(書痙のコントロール群となる場合)
5. スポーツ選手のジストニアと同様のスポーツ(ゴルフなど)に取り組みかつ同様の競技レベルの方(スポーツ選手のジストニアのコントロール群となる場合)
6. 手術などで金属が体内に埋め込まれていない方
7. 現在、精神・神経疾患などを患っていない方
8. てんかん発作の履歴のない方
9. 現在、向精神病薬や睡眠薬などの医薬品を服用していない方
10. 閉所恐怖症でない方
11. 説明を理解し、自ら参加有無の判断が出来る能力を有する方

利用する試料・情報等

試料:なし

情報等:磁気共鳴画像(MRI)、脳波、筋電図、動作計測、ビデオ映像

研究期間

2017年4月1日より2021年3月31日まで

【共同研究機関】

東京女子医科大学病院	研究責任者	堀澤 士郎
上智大学	研究責任者	古屋 晋一

2017年4月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-342-2711

e-mail:hanakawa※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)